

中 運 交 企 第 128 号
令 和 8 年 3 月 27 日

岡崎市地域公共交通会議
会長 松本 幸正 殿

中 部 運 輸 局 長
(公 印 省 略)

令和6・7年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について(通知)

日頃より国土交通行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般報告された標記事業にかかる一次評価について、これを基に二次評価を行ったため、別紙のとおり通知します。

なお、二次評価結果は協議会等において共有するとともに、次年度以降の計画等に反映いただくようお願いします。

【問合せ先】
中部運輸局交通政策部 交通企画課
TEL:052-952-8006

自治体・協議会名	岡崎市地域公共交通会議
評価対象事業	地域内フィーダー系統 調査事業(計画策定)

二次評価結果

評価できる取組 ・公共交通の確保維持のための人材確保策の一環として、地元バス事業者と包括連携協定を締結し、外国人運転士の誕生に向けた支援を行う「岡崎モデル」の構築に努められたことを評価します。 ・次期地域公共交通計画の策定に向け、各種アンケート調査等を行い、現状把握や課題の整理等を進めたことを確認しました。 ・地域の移動ニーズに合った新たな交通手段の構築に向け、額田地区において複数回ワークショップを実施したことを確認しました。 ・「おかざきスマートムーブアクション」や「岡ジャストレイン」など、地元鉄道事業者やバス事業者と連携したイベントを積極的に実施し、公共交通の普及啓発及び新規利用者の開拓等に努めたことを評価します。

期待する取組 ・現在策定中の地域公共交通計画については、上位計画や関連計画との整合に留意しつつ、現状分析に加え、移動需要の変化や潜在需要等も考慮した目標設定を行うとともに、持続可能な地域公共交通を実現するための各種取組が盛り込まれた計画の策定を期待します。 ・利用者数目標が未達成であった地域内フィーダー系統については、現状把握や分析を進め、より住民のニーズに沿った公共交通サービスへの見直しも含め、関係者と連携して検討や取組が進められることを期待します。 ・交通空白地の解消に向け、公共ライドシェアなど新たな交通手段の導入に取り組まれることを期待します。 ・地域間幹線系統である大沼線について、輸送量が補助要件基準の15人に近いことから、引き続き現状の把握に努めるとともに、県、豊田市、運行事業者等関係者と連携して更なる利用促進を図るよう期待します。
--